

大田原市成人式

遠い日のように感じていた今日、成人式を迎えた。
感謝と笑顔に包まれた大田原の成人式をお伝えする。



— coming-of-age —
ceremony



特集

トピックス

健康
おおたわら塾

子育て

健康・福祉

くらし

年金・国保

教養・文化

教育

スポーツ

税

産業

イベント

地域の
ひろば



①



②



③



④

①会場のハーモニーホールに華やかな新成人が集結②受付会場③会場入り④市民憲章唱和⑤新成人を代表して誓いの言葉を述べる高久和順さん⑥式辞に立つ津久井富雄市長⑦市歌斉唱⑧新成人と一緒に市歌斉唱するガールスカウトの皆さん⑨オリジナルTシャツを広げる新成人⑩司会を務めた畑 真未さんと平山智章さん⑪パイプオルガンによる記念演奏

特集 Special feature article



⑥

⑤

大人の門出、成人式

空は青く澄み渡り、遠くに見える那須連山から下りてくる空気が、心地良く頬を冷やす中、熱い思いを胸に秘めた多くの若者たちが集まり、平成26年1月3日(金)、那須野が原ハーモニーホールで「市制施行60周年記念平成25年度大田原市成人式」が開催された。

今年度は平成17年10月の3市町村合併から初となる、大田原地区、湯津上地区、黒羽地区が合同で行う成人式だ。会場では、艶やかな振袖姿、上品なスーツ姿や紋付き袴の新成人たちが、懐かしい友との再会に喜び、記念写真の撮影や思い出話に花を咲かせていた。式には成人式該当者763

感謝の思いを胸に、今日、大人の世界に羽ばたく新成人たち。前途には希望に満ちた夢と目標があふれている。それを見据える彼らのまなざしは、力強く輝きを放っていた。

coming-of-age ceremony

希望の門出

名のうち614名が出席(出席率80・47%)。また、子の門出を祝うために大勢の家族も駆け付け、会場を賑わせていた。

式辞に立った津久井富雄市長は「皆さんが出会った多くの方々の愛情を糧に自分の道を果敢に切り開き、二十一世紀のホープとしてそれぞれの分野で力いっぱい活躍してください。」と期待の言葉を述べた。

新成人代表の高久和順(たかくかずより)さんは「成人式に参加できた喜びは、今までお世話になった多くの方々のおかげです。これからは、自分でできる最大の努力をして目の前の目標に向かって歩んでいきます。」と新成人の志を大人の門出に誓った。



⑨



⑧



◆ 門出を記念して

今回の成人式は、郷土、大田原市をPRする「大田原市観光PR大使」の任命式でもあった。新成人には、大田原市成人式企画委員会特別顧問の与一くんから、大田原市観光PR大使の委嘱状とともに、オリジナルTシャツが贈呈された。このTシャツには大田原市内の各名所などがプリントされており、新成人の皆さんがこれから活躍するさまざまな場でこれを着用することにより、自慢の郷土「大田原」をPRできる立派な大田原観光PR大使となるのだ。

新成人から協力を募り、市内施設に記念品を贈る記念事業も行われた。

新成人から集まった協力は29万4850円にもものぼり、この協力を基にふれあいの丘にジュウガツザクラが植樹される。

ジュウガツザクラは4月上旬頃と10月で年2回開花する桜だ。のちに新成人が紅葉に溶け込んだこのジュウガツザクラを見た際は、若き日の大人の門出を思い出し、胸を熱くすることだろう。

◆ 唯一無二の記念演奏

成人式のクライマックスは、今年度、那須野が原ハーモニーホールに完成したパイプオルガンを使った記念演奏だ。このパイプオルガンはフレンチ・シンフォニックススタイルという19〜20世紀のフランスオルガンスタイルに特化したオルガンで、華やかで多種多様な音楽を奏でることができる。奏者は那須野が原ハーモニーホールの専属オルガニストのジャン＝フィリップ・メルカールト氏だ。

暗闇の中、美しく金色に輝くパイプオルガンからは、バッハの「トツカータとフーガ」とエルガーの「威風堂々」の2曲が奏でられた。その魅力的な輝く音色はとても澄んでいて、それでいて力強く、まるで新成人の輝く未来を暗示するかのように我々の心に明るく微笑んできた。



新成人のおもい

多くの人に支えられ、笑顔で立つ栄光の舞台、成人式。そこから彼らが見つめるもの、思うもの。

今ここにある、決意と笑顔

この世に生を受けて20年。爽快な笑顔とともに精悍な顔つきで、誇らしく大人の門出に立っている新成人。

しかし、いまここにある笑顔は決して自分一人で作りに上げてきたものではない。親、兄弟、友人、先生、大勢の人々に手を差し伸べてもらいながら作ってきた笑顔だ。暗闇を不安な気持ちで歩いている中、目の前に照らされた愛情・友情・人情という、温かい光の道に導かれて歩いて来た結果だ。

兄弟の思い出、友人との絆、先生の優しさ、親のぬくもり、そして、感謝の気持ち。

成人という人生の節目に立ち、これまで歩んで来た数々の道を思い返す。

そして、それぞれの思いを胸に秘め、迎えた成人式。友だちと尽きない思い出話を花を咲かせて大いに笑った。恩師に褒めてもらいたくて、頭を撫でてもらいたくて、あの時から成長した自分を一生懸命に報告した。あの時と何一つ変わらぬ笑顔がそこにはあった。

仲間と一緒にいると湧き上がるこの変わらない笑顔は、いま、この同じ栄光の舞台に立つ仲間とともに作り上げてきた笑顔だった。

この素敵な笑顔を引き連れて大人の門出に立つ新成人の心には、また新たに強い決意と堅い意志が芽生えていた。

医療・福祉の資格を取って、困っている人に手を差し伸べたい。

蛭田智子さん

ひるた・あきこ（湯津上中学校出身）

二十歳になって成人式を迎え、私も大人の一員となりました。大人になったことで、今まで以上に自分の言動に責任を持って行動しなくてははいけません。

私は今まで人生で困ったとき、助けを求めたときは、さまざまな大人の人たちに支えられ、助けられて生きてきました。これからは、私が社会で困っている人、助けを求めている人に手を差し伸べたいと思っています。

私はいま市内にある国際医療福祉大学の医療福祉マネジメント学科に通い、医療と福祉について多角的な勉強をしています。大学の授業は、高校生の時と比べて勉強の時間が増え、内容も濃くなっています。また、大学2年生になり、授業の内容

が専門的で難しくなりましたので、授業に遅れないように日々気を引き締めて勉強に励んでいます。

将来は医療・福祉の資格を取得して、病院関係の仕事に就き、困っている人、助けを求めている人の役に立ちたいです。

そのためにも、達成したいことを最後まで諦めずにやり通します。そして、目指している将来に向かって精一杯に駆け抜けていきたいです。



ワンコメント

お父さん、お母さん。今まで私の好きなように、好きな道を歩ませてくれてありがとう。心から、感謝しています。



谷地和樹さん

やじ・かずき (須賀川中学校出身)

私は、今ここに成人式を迎え、20年間育ててくれた両親に心から感謝しています。その気持ちを手紙にのせて伝えたいと思います。

お父さんへ。お父さんは昔から心配性で、寝る前に「風邪ひくから早く寝ろよ」と毎晩声をかけてくれました。その時は「少ししつこいな」などと感じていましたが、今思い返すと嬉しくて胸が熱くなります。

お父さんは、私が小さいころから私のために、週末になると色々な所へ遊びに連れて行ってくれました。そして、高校生の時は、朝早くから野球の送迎をしてくださいました。お父さんのその優しさに、今は心から感謝しています。ありがとう。

お母さんへ。私が20年間、丈夫な体で過ごすこ

とができたのは、お母さんの手料理のおかげです。お弁当も、高校3年間欠かさず作ってくれましたね。朝早く起きて、父、私、妹の3つのお弁当を作ってくれました。今は妹も高校を卒業したので、お母さんのお弁当を食べられるのは父だけになってしまいましたが、私はお母さんの手料理が本当においしくて毎日の楽しみでした。ありがとう。

この20年間、両親には特に親孝行ということはできませんでしたが、これから社会に出て一人前になることが、一番の親孝行だと思っています。

お父さん、お母さん、これから先もご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしく願います。もっとビッグな親孝行ができるようにがんばるね。

和樹より



ワンコメント

妹へ、あと2年で成人を迎えるね。成人式を迎えると新たなスタートの始まりです。これから先、同じ医療従事者として、社会に貢献できるようがんばろう。



左から：沙耶佳さん(妹)・和樹さん・文男さん(父)・文子さん(母)

成人という自分らしさ

二十歳になると大人と認められて飲酒や喫煙が許される。そして選挙権も与えられるなど社会的な立場が大きく変化する。また、そのような変化のほかに、もう一つ大きく変化するものがある。それが、アイデンティティ、いわゆる自分らしさだ。

今回は、成人を迎えてのアイデンティティを、湯津上中学校出身の蛭田智子さんと須賀川中学校出身の谷地和樹さんの二人に代表して語ってもらった。二人とも若者の無限とも感じるエネルギーと礼節ある言動が印象的だった。

成人式は、数ある人生の節目の中でも、自分らしさを見つめ直し、多くの人々に感謝する貴重な節目の一つだ。新成人たちは、この節目をきっかけに、断固たる自分のアイデンティティを引き連れて、目の前に輝く目標と夢に向かって歩み始めるだろう。そして、その歩みは力強く、決して揺らぐことはない。なぜなら、彼らは自分の未来を一人では歩まず、感謝をささげた仲間と共に笑顔で歩むのだから。

特集

トピックス

健康
おわたわら塾

子育て

健康・福祉

くらし

年金・国保

教養・文化

教育

スポーツ

税

産業

イベント

地域の
ひろば